



第 14 号

発行 旭区高殿5-6-41 大阪府立旭高校同窓会 発行人 西中紀博 編集 旭窓会報編集委員会 印刷 サンライト (36) 3505 (34) 1832 0723

ご挨拶

同窓会長

西中紀博



同窓会員の皆さん、ごきげんよろしゅうございます。母校に集う日が近づいてきました。旭窓会館で皆さんの元氣なお顔を見られることが大変楽しみです。当日は恩師の方々も多数ご出席下さいますので、万障繰合してご参加いただきませうお願いいたします。

新しく本年会員になられた方々、そして昨年は総会がありませんでしたので、昨年度既に会員になっていられる方も本年の総会が初めてです。是非皆さんご出

席下さい。

さて、同窓会の運営について、先般運営諸経費の逼泊から会員に寄附を募り有志の方々から多大なご寄附を頂き、誠にありがとうございます。ここに厚く御礼を申し上げます。また学校ご当局のご尽力で同窓会費の改額等によりまして、順調に会運営ができる見通しがたち、二年に一回にしていた総会を毎年開催しては、と役員会で話をしております。また今迄は、総会日を何時にするかは年度毎

に役員会で決めていましたが、次からは十月の第四日曜日と決めておいて、その少し前に新聞へ案内を出すこととしたら、との役員会の意向であります。このようにして通信費の百万円近い費用が助かり、旭窓会報は二年に一回として同窓会の様子を皆さんに知って頂くことにしたいと考えています。総会当日には、以上の点をおはかりしたいと予定して準備をすすめています。

10月23日(日)午後2時 母校に集まれ! 総会・懇親会のご案内

て会運営に参画していただく余裕がないとは思われませんが、現在の役員の出席状態は芳しくなく、私としてもこのままではよくないと考えるようになってきています。従って本年の総会を期にフレッシュメンバーを選出し、同窓会のより活発な運営を望んでいます。どうかこの点も皆さん方のご協力をお願いしておきます。ともあれ来る総会に多くの同窓生の諸氏とお話できることを楽しみにいたして、御礼、お願い、ご挨拶いたします。

ご案内

母校は昨年四月、創立30周年を迎えました。同窓生の皆様はそれぞれご立派にご活躍の事とお慶び申し上げます。

さて、本年は前回の総会から二年目を迎え、総会を開催する年になりました。今回も前回同様になつかしい母校に恩師を多数お迎えして集いたいと思います。

うらかな秋晴れ、菊薫る好季節、皆様のさわやかな笑顔にお会いできる事を願ってここにご案内申し上げます。ぜひ、お誘い合わせの上ご出席下さい。

- 日時 昭和五十八年十月二十三日(日) 午後二時~五時
場所 母校会議室及び旭窓会館(地下鉄・谷町線関目駅下車 スグ)
○総会次第
一、開会の辞
二、会長あいさつ
三、学校長あいさつ
四、議事
イ、行事報告
ロ、会計報告
ハ、会計監査報告
ニ、会則の一部変更

ホ、新役員選出
へ、その他
五、閉会の辞
○懇親会 三時~五時
費用 一、〇〇〇円
(但し二十八期以後 一、〇〇〇円)
(当日徴収いたします。)

会場準備の都合上出欠を同封のハガキで(切手を貼付下さい)十月十日までにカナラズ御返事下さい。尚、マイカーでの御来校は御遠慮下さい。

会則の変更について

今回の総会の議案の一つとして、次の変更が提案されます。
一、第13条1、通常総会は2年に一回、会長が招集する。
案、1、通常総会は1年に一回、会長が招集する。
文化祭・体育大会
旭高校文化祭は九月十七日(土)十八日(日)に、体育大会は九月二十日(金)に開催されます。後輩達の活躍ぶりを見に、多数ご来校下さい。

ご挨拶

学校長 辻野 鹿雄

昨年、旭高等学校創立三〇周年記念式典を挙行いたしました。同窓会、PTA、旭友会(PTA、OB会)の協力の許に各方面からのご臨席を得、全校生徒出席して、新設間もない体育館で厳粛に行なわれました。この記念事業として記念誌の発行が行なわれ、グラウンドピアノ・食堂の食卓及び椅子が寄贈されました。この誌上を借りて、同窓生各位に厚く御礼を申し上げます。

一人をこえる卒業生、三〇年という年令は、学校としても大きな重味を持つことになりました。伝統の力がにじみ出て来るのも当然と言えます。幸いにも創立の時期より、よき生徒、よき先生を集められて培われて参りました本校の伝統は、外来者にはよく理解できません。三〇年式典には在校生にこの伝統を生かし、更に発展させるよう訴えておきました。

一期の卒業生の方は間もなく五〇才を迎えられます。二期の方は而立の年、夫々の期や年令に応じ各界で顕著な仕事をなさって居られる由承っております。年令を重ねる毎に仕事の中味や責任が増して参ります。ご自愛、ご発展をお祈り申し上げます。今後母校の発展の為に、ご協力を賜わり度、お願い申し上げます。ご挨拶といたします。

歌ことば雑感

旭高校の校名にちなんで

東大教授 稲岡 耕二

近代の歌人のなかでも齊藤茂吉ほど「朝〇」という熟合語を愛用した人はいないのではなからうか。朝明

け・朝市・朝飯・朝寝・朝風・朝川・朝霧・朝雲・朝寒・朝床・朝鳥・朝虹・朝日・朝舟・朝みづ・朝露・朝焼など、広辞苑に登録されているような常用語のほか、朝雉(あさきじ)・朝坂・朝蟬・朝空・朝にはとり・朝浜・朝鯛(あさひぐらし)・朝ほととぎす・朝森など珍しい造語も含まれており、あわせて数十種類を数える。もちろん多彩で珍しいばかりではない。注意すべきは特殊な造語により独特の表現効果があげられていくことだろう。たとえば、

「朝〇」の多用は、歌を「生のあらはれ」とするその短歌観と無関係ではないだろう。また、古今集や新古今集よりも万葉集を尊重した作歌態度とも関連しているにちがいない。「朝」と体言、もしくは用言を自在に結合させる造語法は、古今集にはあまり見えず、万葉集に豊富に見られるからである。

朝鳥(あさからす)「早くな鳴きそわが背子が朝明の姿見れば悲しも」

(万葉・三〇九五)

たまきはる字智の大野に馬並めて朝踏ますらむその草深野

(万葉・四)

万葉集のそうした特徴もまた生の息吹きを卒直に歌った歌人の態度とかかわるだろう。茂吉にとって「朝」は生命の象徴であった。

旭時代の思い出

長野 元泰

大学を出て、始めて就職したのが旭高校であったというところで、とりわけ旭時代をなつかしく思っています。

私が旭にお世話になった

と異り、建物も南館だけで、特別教室も普通教室に転用して授業をし、一期生の卒業式も、二十九年度末によるやくできた本館二階の図書室で行ったという状況でした。

勿論、体育館やプールもなかったもので、体育の授業は運動場だけということでした。(屋上もときどき使いました)

しかし、その運動場も雨が降ると、南館とグラウンドとの間に池のような水溜りができ、そこに近所の子供達が、建設現場の古材で作った「筏」に乗り、水遊びをするという有様でした。

殊に、運動場の用地が、学校の開校前は、公園だったということ、昼頃になると、近くに働く工場の人達が、野球の練習のために入ってきたり、出前屋さんが運動場を悠々と横切ったりして(運動場に塀がなかったこともあるが)、四時間目の体育の授業は困ったものでした。

都市化の進行著しい今日であるとはいえず、当時、阪神甲子園浜での臨海訓練、同浜の汚染により、浜寺公園へ移ったの臨海訓練(昭和三十六年七月・十期生)学校↓赤川一丁目↓都島本

通↓野江↓関目↓学校に至る都心での全校耐寒マラソンなど、みんなよく頑張ってくれたことなどなつかしい思い出です。

その後、学校も順次整備されましたが、九期生の卒業のあと、昭和三十八年四月に府教育委員会の方に転勤し、ここで二十年間おりました。今年四月に、旭より三年おくりて開校した東淀川高校に現在勤めております。

同窓とはよきつながりかな。本年四月八日、東淀川高校の入学式の後、旭三期生の橋本卓君(箕面市役所勤務)が、長女の実華さん(新入生)を伴って校長室を尋ねてくれ、昔話に花を咲かせました。府教委保健体育課時代には、仕事の上で府庁内や市役所・学校等に勤めていた旭のOBの方によくお世話になったことを感謝しております。

勉強もよし。スポーツもよし。母校旭の今後益々の発展を同志の皆さん方とともに声援していきたいと思っております。

(現府立東淀川高等学校長)



「旭」での

二十二年間

林 一

同窓会の皆様、お元気で
すか。先日、十八期生の日
下部君が突然、私の勤務校
である美原高校へ原稿依頼
に来てくれました。何年ぶ
りだったか、本当に懐しく
貫禄十分に成長したその姿
に、頼もしく思いました。

十八期生といえ、四十
四年の高校紛争当時の一年
生。私は当時、二年生の学
年主任。授業は三年生の政
治経済担当で、授業中、随
分と生徒達と「高校生の政
治活動参加」というテーマ
で激論をたたかわせたもの
でした。

私が「旭」へ赴任したの
は二十八年四月、創立二年
目の年でした。早速、一年
四組（二期生）の担任を持
たされ、授業は高殿小学校
内の仮校舎、それも中廊下
で両側に教室があり、ガラ
ス越しに向いの授業が丸見
えというプレハブ校舎でし
た。おまけに秋の台風で屋
根が吹き飛び、私のクラス
だけ他の四クラスへ分散し
て授業させられたこともあ
りました。

新校舎へ移ってから、
いろんな思い出があります。
社研クラブの創設、体育
大会でのスクラムを組んだ
応援姿勢やファイヤースト
ーム、組合旗作製、演劇部
の幕作製等々で、校長先生
にこっぴどく叱責され、特
にファイヤーストームに関
しては、後で職員会議の席
上で陳謝したことなども、
今ではすべて懐しい思い出
です。

五十年四月に府教委へ転
出、五十三年四月に布施高
校定時制教頭、五十八年四
月には美原高校長に任命さ
れました。

三十数年に及ぶ私の教員
生活の中でも「旭」の二十
二年間というのは、本当に
意義深く随分と教えられた
ものでした。

今でも「ゆたかにひたす
大地の息吹き」という校歌
を口ずさんでいます。

終りに、皆様の御健闘と
「旭」のますますの御発展
を祈念して欄筆いたします。
(現府立美原高等学校長)

創立30周年おめでとう

母校旭高校創立30周年記念式典が、昨年5月8日、母校・体
育館において、多数の御来賓をお迎えし、厳粛に挙行されま
した。その後、会場を天王寺・都ホテルに移し、祝賀会が盛
大に開催されました。



創立30周年記念式典 S57.5.8(母校・体育館)

昭和56年度～57年度同窓会会計報告

五期生同期会

北川 親

五期生同窓会(後記)

旭高等学校創立30周年記念式典が行われた時とあい前後して、昭和57年5月16日五期生による左近弘治先生(教育大附属高校平野校舎副校長)をかこむ会が、旭窓会館で開かれました。高校在学中に担任であった者を中心に総勢50余名、中には東京都、千葉、広島県からの参加者もあり、卒業以来20余年ぶりの母校訪問の者も多数あり、かつて通り慣れた校門にたどりつくのに四苦八苦する者続出で、過ぎし才月の重みを痛感させられました。

先生のあいさつで会は始まり、物故者に黙とうをささげ乾盃をする頃には、なつかしい旧友の顔と名前がだんだん一致する様になりました。近況報告、昔話と話がはずむにつれ、当日の「メインイベント」先生のフラメンコダンスもとびだすころには、宴も最高潮というところでした。

全員で「校歌」を歌い、又、在学中に作られた、左近弘治先生作詞、松村督之先生(府立夕陽丘高等学校

長)作曲の「見よ五期生」を高唱し、万才三唱して、会をお開きとしました。全員、玄關のフュニク

スの前にて、記念写真をとる、再会を約して、なつかしい母校に別れを告げました。勿論、この中の多数が、二次会に参加したことはない。うまでもありません。



クラブ

活動

書道部

習字といえば、みなさんが小学生の頃に塾などで習った人が多いかと思われる。習字と書道(書)は同じもののように思われ、全く根本的に異なるものです。簡単にいいますと、習字は模倣性の重視、書道は創造性の追求であるという事です。しかし、書を行うには最低それなりの技量を必要としますが、精神的に創造して、生きた線が書ければよいのです。

又、書道に関する活動では机の上の半紙に書くだけのものはありません。そうした中で、旭高校の書道部ではいつも新しい事にチャレンジしています。

今までは、表具、篆刻、墨流し、蠟燭(ろうけつ)染等してきました。そして最近、丹波立杭焼で、素焼の皿や湯呑みに自由な字入れをして、焼いてもらい個性的な陶器作りに挑戦しました。文化祭も年間における大きな行事の一つです。これは全校生徒に活動を示せる

唯一の機会とあって部員の方の入れようも一層です。今年もよい文化祭で成功させようと、夏休み中から作品の練習に頑張っています。全大阪高校コンクールでは非常によい成績を残しています。各部門、個人上位入賞は勿論、第一回からずっと旭高校が最優秀団体校に選ばれています。これは書道部員だけの出品でなく書道科専攻の生徒全員の出品によるものなので、旭高校生徒全体のレベルの高さがうかがえます。

こうした様々の活動をやっていけるのも山下啓明先生の御指導によりますもので、書家としてのお忙しい中、仕事の合間をぬっては部活動の御指導をして下さいます。

このように、書道部はよい先生のもとで、先輩の作り上げられた伝統を踏まえ、より幅広い活動をみんな楽しんでやっています。

野球部

七月十六日(土)午後五時から夏の大会に挑む野球部現役諸君を励ます激励会が取り行われました。昨年は、こういった激励会を開催し

ていなかったもので、今年のこの激励会にはどれだけのOBの人たちが集まるかと思っていました。OB会長をはじめ、ご年輩のOBの人たちのご尽力で、思ってたよりは多く集まったようです。ただ、十期生、十期生の間の人の集まりが悪いのはちょっと残念な感じがしました。

さて、激励会の内容の方は、例年ですと現役諸君一人一人が抱負を言い、OB一人一人が激励の言葉を言っていました。OBとしてはいくらでもOB一人一人から激励の言葉をもらえばまた一段と奮起するのではないだろうかと思われました。

激励会に引き続きOB会も行われましたが、ここでもやはりチグハグを感じて、一応、連絡をつける代表者だけ決めて終わった次第です。やはりもう少しOB全員の連係をもっとうまくしなくてはならないというところを感じました。

(28期生、三宅)

|| 寄金者 || 芳名 ||

左記の皆様から多大な寄
金をお寄せいただきました。

それぞれ御礼状を出すべ
きところですが、紙上を借
りて心より厚く御礼申し上
げます。

皆様、本当にありがとう
ございました。

今後も継続していきたく
と考えていますので、ご協
力下さいますよう重ねてお
願い申し上げます。同封の
郵便振替払込書にてお願い
いたします。

(一) 昨年七月十七日より
本年七月末日現在まで)

母校人事

昭和五十七年五十八年度
に次の諸先生方がそれぞれ
転出されました。

◎五十七年度

- 松川 健治 (池島校長)
- 元永 裕子 (門真)
- 小川 恒子 (香里丘)

◎五十八年度

- 小林 雅美 (泉北)
- 内田 義弘 (天王寺)
- 西川 豊 (南寝屋川)
- 広瀬 達雄 (磯島)
- 久島 山治 (伯太)
- 多田 博子 (西野田工)

以上の先生方の転出に伴い、次の諸先生方が転入されました。

◎五十七年度

- 山本 和夫 (吹田東)
- 渡辺 政雄 (千里)
- 仁谷 なほ子 (府立図書館)
- 岡村 健一 (門真)
- 奥田 康子 (門真)

伝言板

◎野球部総会ノ◎

毎年七月の第二土曜日、夕方五時から激協会を兼ねて行なわれます。皆様の多数のご参加をお待ち致しております。

◎十八期三年五組集合ノ◎

- 丸山 賢 (貝塚)
- 山口 典子 (布施北)
- 斎藤 恵子 (大東)
- 飯田 修 (茨田)
- 神前 能理子 (住之江)
- 衣川 和男 (城東工業)
- 徳永 博正 (南寝屋川)

◎五十八年度

- 繁内 恵子 (清友)
- 寺西 真 (枚方西)
- 井上 政治 (金岡)
- 石田 栄市 (南寝屋川)
- 上村 良雄 (香里丘)
- 三木 奈緒美 (藤井寺工業)
- 吉金 千恵子 (新任)

「」退職

◎五十七年三月末日付

- 寺内 仁枝 (事務長)

◎五十八年三月末日付

- 阪中 章三 (英語科)
- 細谷 峯子 (保健体育科)

十八期三の五「松村組」のクラス会を左記の要項で開催します。詳細は日下部までお尋ね下さい。

「松村邸見学と

道明寺古墳群探訪

日時 十月三〇日(日)正午
集合 近鉄アベノ駅改札口
会費 五、〇〇〇円(当日徴収)
申し込み締切 十月十日
(電話のみにて受付)

同窓会

「今後の展望

再確認のため

アンケートのお願い

母校は、昨年創立三十周年を迎えました。人間で例えるなら「而立の年」で、ようやく一本立ちした。というところでは、この記念すべき時にあたり、「同窓会活動の意義・目的」「母校・在校生に対する援助」「円滑な活動運営のための資金増額」など、同窓会本部としてこれからの指針ともいうべき、「旭高校同窓会の今後の展望」を再確認してみたいと思います。

会員皆様の卒直なお考えをお聞かせ下さい。

出欠ハガキのアンケート欄にご記入下さい。

総会・懇親会について

Q1、開催回数は?

- A、二年に一回(現状)
- B、毎年一回

Q2、開催時期は?

- A、定例の日を決める
- B、その都度決める

◎十月の第四日曜日

Q3、開催場所は?

- A、母校(現状)
- B、ホテルなどの宴会場

会誌「旭窓会報」の発行について

Q4、発行回数は? (総会開催とはかわらせず、お考え下さい)

- A、二年に一回(現状)
- B、一年に一回

同窓会々費の徴収について

Q5、卒業時に納める終身会費だけでなく、卒業後十年以上経過した会員から年会費を一日、〇〇〇円単位で徴収することに賛成

- A、賛成
- B、反対

後援会組織の結成について

Q6、母校・後輩(在校生)に対する奨学金援助や、就職の斡施などを目的とした後援会組織の結成に……

- A、協力できる
- B、協力できない

同窓会名簿発行について

Q7、近々、同窓会名簿を発行すべく準備を進めております(価格未定)が、購入を……

- A、希望する
- B、希望しない

広告掲載の賛助について

Q8、同窓会名簿に掲載する広告を募集します(有料、料金未定)が、あなたも広告掲載にご協力をお願い

- A、希望する
- B、希望しない

住所変更・改姓などの

ご通知はぜひ官制ハガキ

でお願ひします。間違う

といけませんので……

「原稿募集」

各期の会合記・クラブのOB会、在学当時の思い出やエピソード等会員からの投稿をお待ちしています。原稿一切は一応総会の年度の六月末日です。

事務局からのお願い

住所標示の改正や移転などの時、できる限り早く、お知らせ下さい。

ご結婚・ご改姓の場合も早く、新居の住所・電話番号・郵便番号などをお忘れなく、お知らせ下さい。

ご友人の本会会員、ご兄弟・ご家族の中で母校ご出身の会員方の移動・変動があった場合も、どうか、ご協力下さって、お知らせ下さいますようお願い。

住所変更・改姓などのご通知はぜひ官制ハガキでお願ひします。間違うといけませんので……